

平成27年度 第23回政策推進会議報告

日時 3月14日 13時30分～14時03分
場所 4-1会議室
出席者 20人

1 尼崎市次世代育成支援対策推進行動計画(素案)に対する市民意見公募手続の結果について

こども青少年局長から資料に基づき報告。

2 市営バス事業の民営化について

自動車運送事業管理者から資料に基づき報告。(以下、質疑等)

- ・高齢者特別乗車証について、現在は市が行っているが、阪神バスのカードに置き換えるという理解で良いか。

定期券はランドパス65に置き換えるものである。

- ・発行も阪神バスが行うのか。

そのとおりである。

- ・そのため、市内に限らず乗車することができるのか。

そのとおりである。ランドパス65は1人あたり4万円であるが、市が2万5千円の助成を行い、残りの1万5千円を本人が阪神バスに支払うことで手に入れることができる。

- ・本人負担が1万5千円では今と同じでは。

本人負担は同じで、高齢者特別乗車証との差額分については市の負担が増加している。

- ・交付の方法は今までと同じか。

今までと変更となり、助成券を持って阪神バスの営業所で購入してもらう。

- (市長) 高齢者特別乗車証の受け取り、申込み方法が変わることになるが、差額分の金額の補助をもらうためには先に手続きのため市役所に来る必要があり、ここまでは今までどおりだが、その先の手順については、手続きに来た際に教えてもらえるため、あまり混乱は起こらないということで良いか。市の費用も増加するが、せっかく便利になるにも関わらず、そこで混乱が起こり、市民の方の不満が募るのはもったいない。

- (市長) 関連だが、今回障害者と高齢者の特別乗車証で違う取扱いとなったが、阪神バスは元々障害者に対する割引制度を持っているため、一定現時点ではこのままで良いのではということであったと思うが、今後はどうしていくのか。高齢者の取扱いに合わせていくのか。

- ・順次取扱いを合わせていくということで、協議をさせていただきたい。阪神バスの割引制度で障害者の乗車料は二分の一となり、尼崎市は残りの本人負担分も無料にしている。ただし、精神障害の方は阪神バスの割引制度の対象とはなっていないが、市が他の障害者と同じになるように全額無料としており、整合性を図っていきたいと考えている。

- (市長) 障害者についても市外との接続路線も良くなり、全くサポート制度が無い訳ではないと思うが、高齢者と取扱いが違う点の説明が難しい。

・今回一挙には出来なかったが、今後高齢者と同じような取扱いで進めていきますということは説明している。

(市長) 障害者も IC カード化するためには、高齢者と同じくらいの費用が必要となるのか。なるべく低予算で便利になる方法を考えなければならない。高齢者と同じく阪神バス全域に広げるかどうかという点が問題か。

・現在も、障害者についても無料でサービスを提供しているため、阪神バスに切り替えたとしても、IC カードの対象者が急激に増える訳ではないため、経費的には今とあまり変わらない。

(村山副市長) 高齢者は阪神バスの制度が元の市の制度よりも優遇されたものとなるため適用することとしたが、障害者に同じように適用すると、逆に本人への負担が増加しまうため、障害者への現在のサービスはそのまま IC カード化するためには、阪神バスの制度を変えてもらわなければならない状況で、協議が進まなかったのではなかったか。

・どちらにしても、阪神バスで障害者用の定期券は持っていないため、新たに IC カードを作る必要がある。

(市長) 今後も紙のままという方法は無いのか。

・紙も選択肢としてはあり得るが、高齢者と取扱いを合わす意味で、IC カード化させたい。

(村山副市長) これは市の判断ではなく、阪神バスと協議しなければならない。

(市長) いずれにしても、3 年間は紙を使用することになる。4 年目以降も紙のまま制度だけ拡充してはどうか。IC カード化するだけで費用が掛かり、更にその費用は本人に還元される訳ではない。そういったインフラ経費ではなく、本人に還元することが出来るものに優先的に費用を回すことが出来、紙のままでも高齢者と同じように他の路線や阪急等にも乗車が可能になるように考えなければならない。

(村山副市長) 阪神バスからすると他の市の方も乗車するため、尼崎市民にだけそういった優遇をする訳にはいかない。

・利用料の精算という面でも、IC カード化をしていると乗車の都度カウントされるため、確実な精算を行うことが出来る。

(市長) IC カード化の費用を掛けないために、例えば、障害者も無料でランドパス 65 をもらえるようにする等の工夫をしてはどうか。ただし、その場合、パーソントリップ調査で本来障害者でカウントすべき人が高齢者でカウントされ、調査がおかしくなる。

・その場合、障害者の本人負担分 4 万円が市の負担となり、市の負担が増加することになる。

(市長) IC カード化のインフラ費用よりも低予算で可能かというところである。こういった問題について、議論、準備の上、交渉を行っていかなければならないと思うが、どういうスケジュールが予定されているのか。

(村山副市長) この 3 年以内には決着をつける予定としている。

(市長) 利用者目線に立った説明をお願いしたい。

3 その他

・水道事業管理者から、尼崎市水道通水 100 周年ロゴマークの作成について説明。